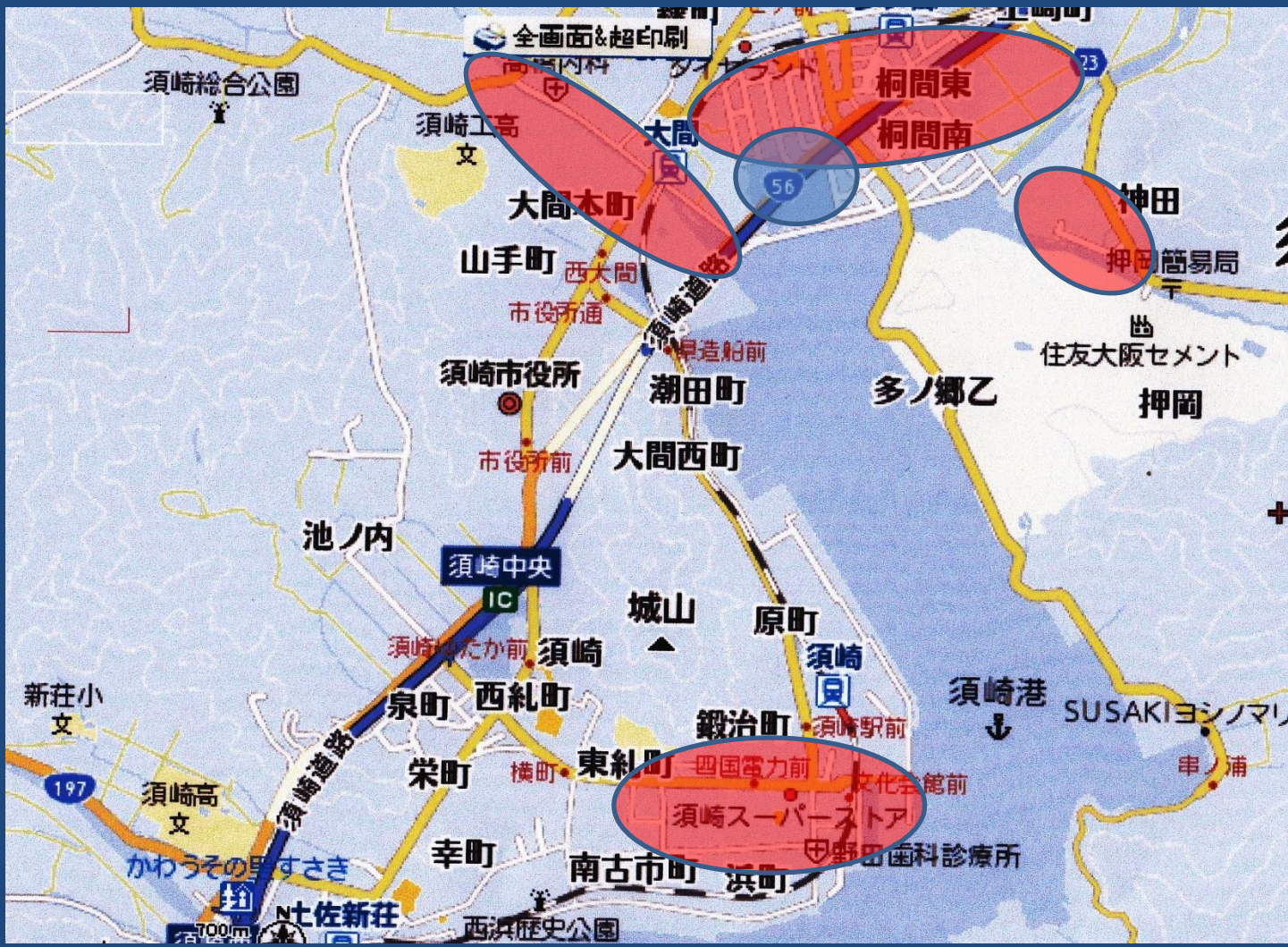


2012年9月4日

須崎市の津波避難と減災対策 (案-抜粋)

多ノ郷・桐間地区 巨大津波に対応した
避難体制づくりと津波火災対策

須崎で被害が大きいと想定される地域



須崎市は過去の大津波後に発生する津波火災を考えています



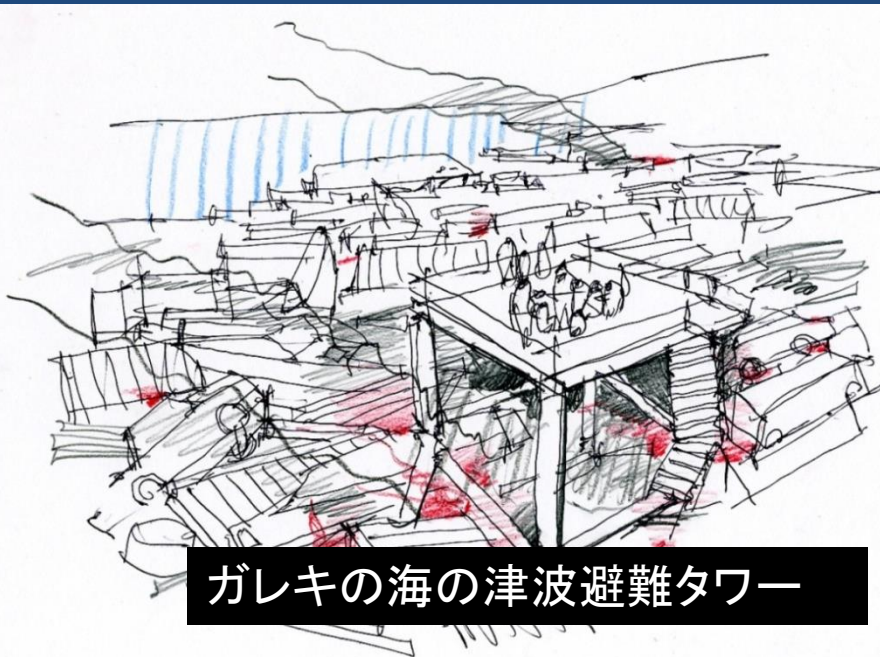
東日本大震災津波場所不詳



市民の命を安易に津波タワーや避難ビルに任せれば将来大勢の犠牲者がでる可能性もあります

■ガレキ津波火災の危険性

3. 11東日本津波では、避難所の石巻市門脇小学校や仙台空港ビル近くの貨物ターミナルでは漂流したクルマから引火して火災が起き大勢の犠牲者がでるところでした。タワーや避難ビルが津波火災に見舞われる危険性を排除することはできません。



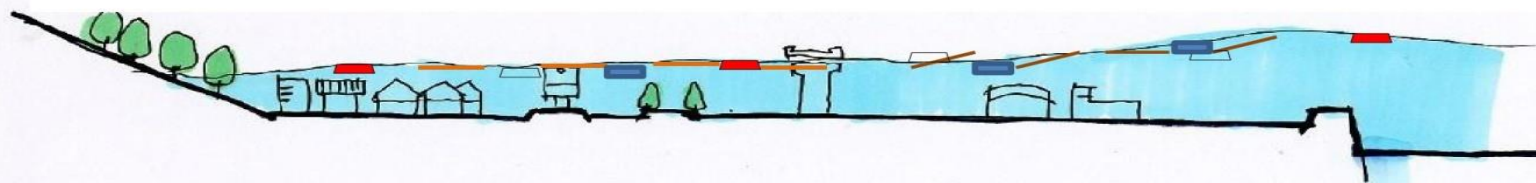
ガレキの海の津波避難タワー



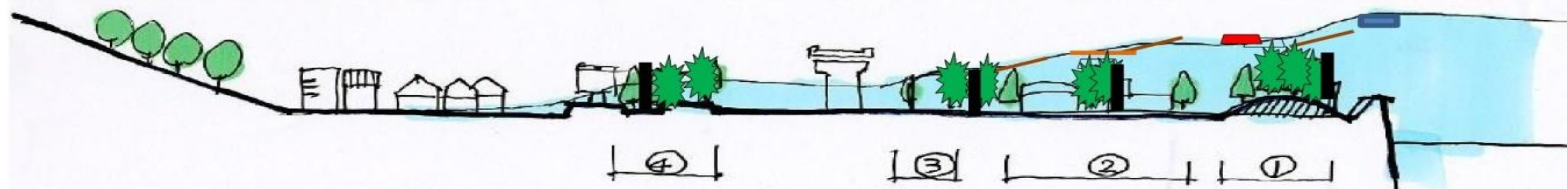
石巻市立門脇小学校

須崎市桐間、多ノ郷地区の津波—内閣府の想定津波イメージ図

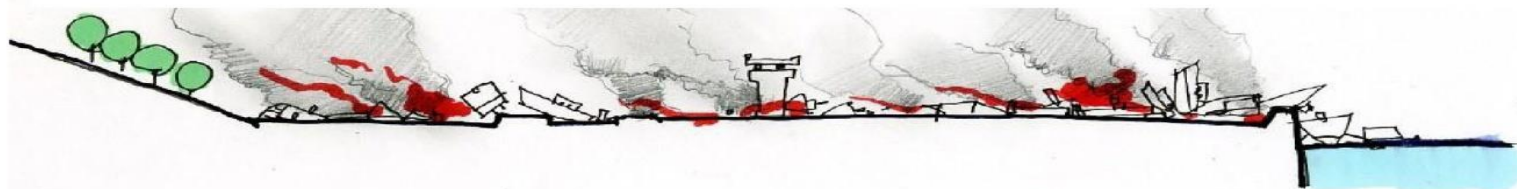
■ 対策を何も行わない場合 — 漂流物を巻き込んだ津波はすべての地区を襲う



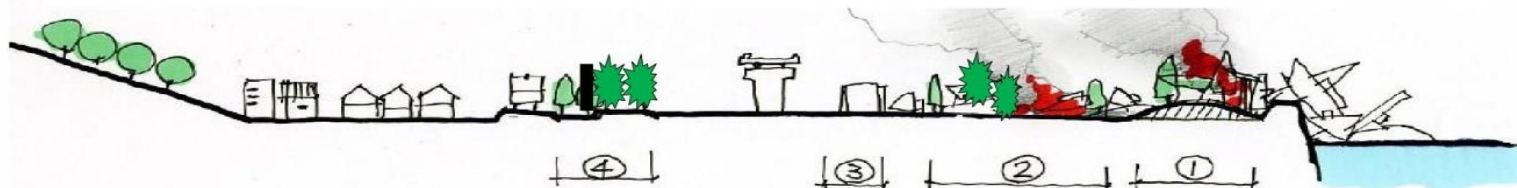
■ 須崎市のできる対策—緑地帯と柵の多重防護で津波と漂流物を抑える



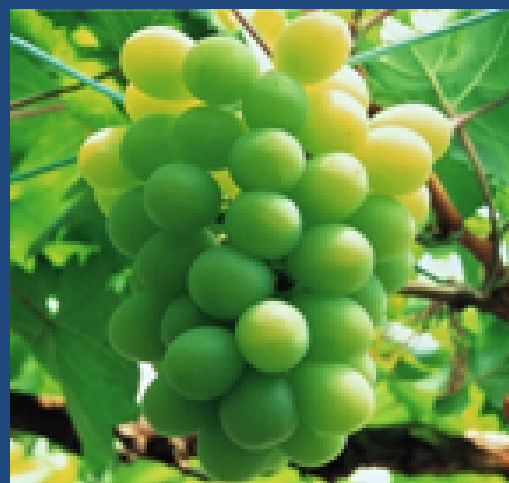
■ 対策を何も行わない場合 — がれきと化した市街地を火災が襲う



■ 対策を行なった場合 — ほとんどが床上浸水で助かり、漂流物火災は海岸だけに



市街地を樹林帯で細かく防護するシステムークラスタ防护(ブドウの房)計画を進めています



クラスターとはブドウの房の意味、個々の街区をブドウの粒と考え、それぞれの粒に樹林帯で包み防護し浸水の勢いを削ぐ、あわせて房全体としての津波の流れを制御できるシステムです。これは、ブドウの粒と房全体を有機体としてコントロールするシステムで、単純に津波の水を止めるのではなく緑のリング群で津波全体を減速させ、被害全体を抑えるという斬新なアイデアです。

